

国際ロータリー第2790地区 第8グループ

創立1957年3月23日



イマジン  
ロータリー

# 銚子ロータリークラブ会報

第3191号 2022年11月16日(水)発行

例会場 銚子商工会館5階大会議室(銚子市三軒町19-4)

TEL0479-23-0750 FAX0479-25-8789

Email d2790@choshi-rotary.club HP <https://www.choshi-rotary.club>

◇第66代会長 高瀬幸雄 ◇副会長 佐藤直子 ◇幹事 淵岡彰介

## 本日のプログラム

「ガリレオと天体望遠鏡の話」

松本 恭一会員

## 前回例会報告(11月9日)

点 鐘：高瀬幸雄会長

ロータリーソング：我等の生業

ビジターなし

## 会長挨拶

昨夜は全国的に晴天に恵まれ、銚子でも皆既月食が見られました。そして442年ぶりとなる、月が惑星(天王星)を隠す惑星食も観測されました。皆様も夜空を見上げ宇宙の美しさを堪能したのではないのでしょうか。今月はロータリー財団月間です。ガバナー月信にロータリー財団は26.5ドルから始まったと記載されていました。1917年国際ロータリー会長に就任したアーチ C クランフがアトランタで開催された大会で提案したがまったく賛同を得ることが出来なかったようです。しかしカンザスシティのロータリアン達が、何とか会長の面目を立てるために手元にあった26ドル50セントを寄託したと書かれていました。

100年以上前に創立されて以来、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル(現在のレート146円換算で5840億円)以上の資金を提供してきたようです。

財団の使命は、ロータリー会員が、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすることと謳われています。日本では会員一人当たり年次寄付150ドル・ポリオプラスに30ドルとしています。

一方、ポリオ根絶に関してはゲイツ財団(現在の名称はビル&メリンダ・ゲイツ財団)が大きな役割を担っています。2021年5月、ゲイツ夫妻が離婚したことでその役割の行方が心配されていましたが、ビル&メリンダ・ゲイツ財団は、引き続きロータリーの拠出金に対して2倍額を上乗せすることが改めて表明されその心配

が解決されました。これにより毎年ロータリーは5000万ドル集めることを目標にし、その2倍額の10000万ドルがビル&メリンダ・ゲイツ財団が上乗せし、合計15000万ドル(日本円で146円換算で219億円)がポリオ根絶のために投入されることになりました。期間は2026年まで延長されたようです。因みにビル&メリンダ・ゲイツ財団の生涯寄付額は550億ドルで約7兆6300億円になり、史上最高額のようにです。

世界最大の慈善団体であるビル&メリンダ・ゲイツ財団は2026年までに現在の年間60億ドル(8300億円)の資金拠出を1.5倍の90億ドル(約1兆2500億円)に引き上げるとも報道されています。

この財団は2000年にシアトルに創設され、主に公衆衛生や教育、気候変動対策をテーマに活動し、新型コロナパンデミックのワクチン開発研究に約17億5000万ドル(1900億円)を寄付し、2019年現在、ゲイツの資産総額は430億ドル(約4兆7000億円)以上と言われており、この総額は財団を除く総資産のようです。ゲイツ夫妻は1994年から2018年の24年間に自己資産360億ドル(約3兆9400億円)以上を財団に投入したと伝えられています。

こんな話を聞くと、ロータリアン一人当たり年次寄付とポリオプラスで180ドル(146円/\$で26,280円)、世界のロータリアン120万人として約316億円になりますがビル&メリンダ・ゲイツ財団(二人)がポリオ根絶だけで年間約150億円を拠出することが如何に大金であるかを感じた次第です。

そして我々ロータリアンも世界で地域で奉仕活動を積極的に行う集団として活動していますが今できる最低限のことは行うことの大切さを痛感したことをお伝えし会長挨拶とさせていただきます。

## 幹事報告

1. 風の便り Vol.8 No.3 (通刊97号)
2. 地区HP 地区大会動画アップのお知らせ
3. バギオだより第93号

…ガバナー事務所

2022-23年度ジェニファアE. ジョーンズR I 会長テーマ  
IMAGINE ROTARY  
イマジン ロータリー

2790地区 小倉純夫ガバナー(松戸RC)スローガン  
ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、  
千葉から世界を変えていこう!

製作◇広報・会報委員会 山本肇 五十嵐亘 大岩将道 須永清彦◇

## 【例会変更】

銚子東 RC

11月22日(火)定款第7条第1節(d)により休会

12月6日(火)移動例会 円福寺 点鐘 12:30

八日市場 RC

11月29日(火)→12月2日(金)旭 RC 合同ガバナー  
公式訪問の振替のため休会

【11月のロータリーレート】1ドル=148円

【ガバナー月信11月号の記事紹介】

## 会員の記念日

お誕生日おめでとうございます!



松本 恭一会員  
(11月9日)

古稀 上総 泰茂会員  
(11月3日)

高橋 宏明会員(10月27日)

櫻井 公恵会員(11月9日)

結婚記念日

小田島國博会員(10月27日)

高橋 宏資会員(10月31日)

寺内 忠正会員(11月8日)

入会記念日

猿田 正城会員(10月30日)

高橋 宏明会員(11月4日)

創業記念日

高瀬 幸雄会員(11月1日)

常世田祐一会員(11月2日)

## ニコニコBOX

◇高瀬 幸雄会長

㈱山二電機も今年で創業77年になりました。

◇大里 忠弘会員

先般行われました両クラブゴルフ会にて図らずも優勝させていただきました。ありがとうございました。

◇佐藤 直子会員

今日は卓話をさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

## 卓話

「私の仕事から見た職業奉仕」

佐藤 直子会員



今日は「職業奉仕」に関連しての卓話をと、上総会員に依頼されましたので、『私の仕事から見た職業奉仕』とい

う演題を付けさせて頂きました。

現在私は高齢者介護の仕事に携わっています。それまでの薬剤師としての仕事もこの介護の仕事もそうですが、自分は、これらの仕事に就いて過ごせたこと、また過ごせることを心から良かったと思っています。

さて、私はこの「職業奉仕」という言葉をロータリークラブに入会して初めて聞きましたが、正直なところ、なぜ「職業奉仕」という言葉がロータリーの金看板と言われ象徴的な言葉として使われているのか不思議な感じがしたのを覚えています。

どんな職業、つまり生業には、まず相手があるということと、それを必要とする人、望む人に提供することによって仕事が成り立つことを前提としています。それでも、時に誰もが望まないような反社会的な要素を持っていることを「職業」として名乗っているものも実際この世の中に蔓延っていますが、それは論外とします。

「ロータリーの綱領」に、「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」と、ありますが、これも「奉仕」という言葉が理解を難しくしているような気がしてなりません。そして、「意義ある事業」「奉仕の理念」・・・取り立てて言う程のことでは無いような気がしていました。

そう思うことには、それは私が育った環境にあったのかも知れません。父が医者であったため、幼い頃から「仕事に関連した会話」が日常的に交わされていましたが、それを私は普通のこととっていました。

父の職業柄、私は、患者さんの病名とその病態の変化や、どうしてこういう病気になるのか、また、急変した患者さんのところに往診に行く父を見送ることなど、耳にすること目にするのが普通のことでした。

ですから、父は患者さんのために働いているという直接的な行為を見ていたので、仕事によって誰かの役に立っているという意識は既に持っていたように思います。そしてそれは特別なことと思ってもありませんでした。

開業当初は、自宅と診察室、入院の部屋が一緒の家屋にありましたから、常に私にとって患者さんは身近な存在でした。用事が在れば、患者さんが座っている待合室を通り父のいる診察室に行ったりその際には顔なじみになった患者さんとの会話があったり、診察室の一角に調剤室があるため、そこに居ると、必ず覗き込んだ

患者さんが「幾つ？」とか「何年生？」とか話しかけるわけでは

特に入院患者さんは、より身近な存在で、仲良くなるとその患者さんのところに行き「もう点滴終わったの？」と、遊んで貰いたくて声を掛けていました。実際何人かの入院患者さんは私たちこどもの面倒もよく見てくれ、毎日のように接点がありました。

患者さんを、「病気がなくなってしまった普通の生活者の一人」として見ていたのだと思います。日常の中に「入院していて退屈だろうな」と子供なりに感じていた大人たちがいましたから、相手が何を喜ぶかということ自然而然に体感していたようです。

そして勿論、それは単に「子供の勝手な振る舞い」ですから、それが本当に患者さんにとって癒しになっていたかどうかまでは分かりませんが、**お互いの交流**によって心が和むことがあったのも事実です。

自分が仕事をするようになってからも、そういった体験が何処かに染込んでいるのか、「奉仕」という言葉は考えたこともなく、**仕事を通して何かを提供することは自然で、**敢えて「職業奉仕」という言葉を使うことに入会当初は違和感を覚えたものです。

それでも、**実際の現場**は 全て経験則や自然体で成り立つわけはありません。自分の仕事に**本当の価値観**を見出すまでには、色んな**経験を積んで**初めて分かることが沢山ありました。

そもそもこの「人が相手の仕事」は当然一方通行で成り立つわけもなく、若い時には経験則も浅く、それ故の**難しさや苦労や失敗**もありました。それがいつか、**喜びや遣り甲斐**に繋がるまでには**多くの時間が必要**だったことは言うまでもありません。こうした**経験値**が、少しずつ**仕事に対する覚悟や自信**に繋がっていくものです。

ただ言えることは、このロータリーの「**職業奉仕の理念**」は目的や行動規範が明確ですから、早くから知って理解すれば**仕事に対する向き合い方**が違ってくるのかも知れませんね。先ほど「奉仕」という言葉に違和感を覚えると言いましたが、勿論、否定ではありません。**社会福祉法人や非営利団体で使われている「奉仕」または「奉仕活動」とは違った意味**を持っていることは理解できます。

人は一人では生きていけません。そこで**互助、互助の働き**が必要になってくるわけで、より良く生きるための術として、**お互いが相手に対して何かを提供し喜んで貰い、更にはそこに自分の喜びを見出すことができれば素晴らしいこと**です。ですから「**提供**」という言葉の方が私にはしっくりいきます。また**仕事を通して**、人は沢山の「**幸せ**」を感じる事が出来ることも事実です。

「人の幸せというのは**4つある**」そうです。一つは、**人に愛されること**。二つ目は、**人にほめられること**。三つ目が、**人の役に立つこと**。四つ目は、**人に必要とされること**。そしてそれは、**働くことによって得られる**そうです。「**働く**」の語源は「**傍(はた)を楽にする**」ともいわれています。

「はた」というのは他者のこと。つまり自分以外の誰か。家族と一緒に働く仲間やお客様、そういった人たちの負担を軽くしてあげたり、楽にしてあげる、というのが「**働く**」の意味です。

人は、自分一人を満足させようと思っても幸せにはなれない。不思議と、だれかの為に一生懸命なとき、**幸せを感じる生き物**なのです。そして、提供したことが相手の役に立ち、認められ、褒められ、必要とされ、愛されることによって、**より自分自身が「幸せ」を感じる**のだそうです。それは「**利他の精神**」ということですが、幼い子どもでも「**利他的行動**」が**幸福度を高める**というこんな**実験**がありました。「平均2歳に満たない幼児がお菓子をもらった際と、あやつり人形にそのお菓子を分けてあげるように促されて、分けてあげた際を比べると、あやつり人形にお菓子を分けてあげた時の方が、**幸せな表情**を見せることが報告されています。さらに、幼児は追加でお菓子をもらってあやつり人形に分けてあげた時よりも、もともと貰っていた自分のお菓子をぬいぐるみにあげた時の方が**幸せな表情**を見せることも報告されていますこれは、**自分がコストをかけて他人に利益を与える**ことが、幼い子どもの間でも**幸福を高める傾向を示す**という興味深い結果であります。」これは実験の一つでしかありませんが、大人による「**人のためのお金を使うと幸せになる**」という実験や「**経済的な貧富に関わらず利他的行動は幸福度を高める**」といったような実験など、**人は何によって幸せを感じるかを証明した**ものが沢山あります。

さて、話は元に戻りますが、**本来、このように人間の持っているこの特性を考えると**、仕事を通して相手が必要としている良いものを提供することによって、**相手が喜び、相手のためになり、相手が満足することを前提**にしていれば、そこに既に**職業倫理が成り立っている**のだと思います。

私たちの業界はモノづくりという「目に見えるもの」とは違った形でサービスを提供しています。極端な言い方をすれば「**目に見えないサービス**」をより多く提供する必要があります。介護の仕事においては、その方の「**人生の最終章**」に如何に寄り添うかが大事で、その人の「**人生の一部**」に関わっているという**意識**を常に持つことが大事です。人と人との、**直接触れ合う仕事**ですから、自分たちがその人と向き合う時の態度一つで、相手が「**幸せにもなれるし、そうでない場合もある**」ということを肝に銘じておかなければなりません。

また、人のすることですから、単にマニュアル通りにやれば良いというものでもありませんし、たとえマニュアル通りにやっただとしてそれが正しい介護とも言えません。同じことをしても**お互いの信頼関係と愛情**を持って接しなければ**相手の満足度**は非常に低いものとなってしまいます。

そして、技術的なことは教えられても、**感性の問題**はなかなか教育すると言っても難しいことも事実です。感性を育てるには沢山の時間と労力が必要とされますが、私たち**経営者の最も大事な仕事の一つは「人材育成**」

だと思っています。それをしない経営者は自然とその事業も淘汰されていくのだと思います。

また自分の仕事に対する理念は「**報恩**」の意識にあります。今まで自分が与えられてきたことに感謝し、その恩返しをしていく。ということを胸に刻んでいます。それは大そうなことでもなんでもなく、「恩を返す」ことが直接その人に出来なくても「**受けた恩を他の誰かに送っていく**」つまり、「**恩送り**」で恩を返していけることを知った時、素直にそれを認めることが出来たからです。その基軸がブレないように仕事をしてくことが、私にとっては「**生きた証**」を残すことになります。

今まで自分が、仕事に対して、遣り甲斐を憶えたことは沢山ありますが、その時**大事なことはそのプロセスにあるのかも**知れません。2011年に「**地域密着型の介護付ホーム**」を創った時も、何のために誰のためにという目的がハッキリしていたから出来たのだと思いますし、3年前に新たな場所に**心療内科を誘致して駅前**に**調剤薬局**を建て直したのも、そこにはハッキリした目的がありました。それが無ければ、敢えて苦勞を背負うことに躊躇していたことでしょう。

このロータリーの「**職業奉仕**」は多く議論されてきたようですが、ただ「**言葉の概念**」だけに拘り過ぎることには**あまり意味がない**と思います。飽く迄、自分が社会にどう貢献できるのか、またはそれを通して人を幸せにできているのかの「**実践**」をしていくことが大事であると思います。

ですから、これからも可能な限り、自分も人も幸せになるための努力を**仕事を通して重ねていく**ことが、「私の仕事から見た職業奉仕」であると結論を持って終わりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

## 表彰



ポールハリスフェロー 米山功労者  
 (マルチ3回目) 第3回 第4回  
 田中 英子会員 高瀬幸雄会長 松本恭一会員

## 委員会報告

須永清彦青少年奉仕委員長 (代読)

ローターアクト委員会より

コロナで3年間中止となっていた千葉科学大学・学園祭(青澄祭)が、この12・13日に開催されます。アクトメンバーもこの学祭に向けて実行委員会を立ち上げ、ミニ縁日として輪投げ・ビー玉ころがし、コイン落としを企画しました。会場は学内に入り金島さんの鯉が泳ぐ池を前に見て、右へ進んだ奥の6号館看護科棟6101です。お時間のある方は、

ぜひ顔を出してあげてください。よろしくお願い致します。

## 例会終了後、第3回増強委員会開催



## 【出席報告】

会員総数 37名 出席計算 34名  
 出席 26名 欠席 8名  
 出席率 76.47%

欠席者：東川君・飯島君・宮内(秀)君  
 櫻井(公)君・島田君・吉原君・鈴木君  
 高橋宏明君

【M U】 11/15 八日市場 RC 信太君・寺内君

## 【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥24,000	計	¥290,000
スモールコイン	¥3,200	計	¥20,043
米山BOX	¥—	計	¥18,876
希望の風	¥23,100	計	¥110,700

次週23日(水)例会は休会です

次回(11月30日)プログラム

「これからの主要道路」

千葉県議会議員 宮川 太様

お弁当：高浦 (幕の内)

## SOMETHING NEW 青澄祭



千葉科学大学ローターアクトクラブメンバーと